



風穴の観測研究と地域資源としての活用

都市経営学部都市経営学科 教授 澤田 結基

キーワード

風穴、養蚕、地域資源の活用

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

「風穴」は夏～秋に冷たい風を吹き出す穴、あるいは冷風を利用した冷蔵倉庫のことを指し、明治・大正時代にはカイコの卵の貯蔵に使われ、日本の主要産業であった製糸業を支えていました。近年、風穴の価値が見直され、観光資源として、あるいは日本酒や農産物に付加価値をつける天然の貯蔵庫として再活用されています。私はこれまで風穴のしくみの解明に取り組み、岩の隙間に氷が成長することで冬の寒さが蓄積され、夏に涼しい環境が生まれることを明らかにしました。こうした観測を、北海道、群馬、島根などの地域と協力して継続しています。風穴は各地で天然記念物やジオパーク、世界遺産などに位置づけられており、保全と活用が期待されます。

2 連携可能性のある研究分野、又は、これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・風穴には地域の気候よりも寒冷な気候に適応した生態系が出現することがあり、植物・動物生態学分野との共同研究を希望しております。
- ・地域貢献として、地域の風穴の観測や産業との関連を調べることで、地域資源の発掘につながり、教育や観光への活用が期待されます。

これまでの連携実績

- ・とちぎ鹿追ジオパーク推進協議会委員(風穴をメインテーマとするジオパークの運営に参画)
- ・福山市文化財保護審議会委員
- ・三原市文化財保護審議会委員